

院外処方箋に印字される検査値一覧

項目名	正式名称	当院基準値	単位
AST(GOT)	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	10~40	U/L
ALT(GPT)	アラニンアミノトランスフェラーゼ	5~45	U/L
ALP	アルカリフォスファターゼ	110~340	U/L
TBL	総ビリルビン	0.2~1.2	mg/dL
CRE	クレアチン	男性：0.61~1.04	mg/dL
		女性：0.47~0.79	
eGFR	推算GFR	60.0 (下限)	mL/分/1.73m ²
K	カリウム	3.3~5.0	mEq/L
CPK	クレアチンフォスホキナーゼ	男性：45~190	U/L
		女性：35~170	
WBC	白血球数	3.9~9.8	千/ μ L
HB	血色素量 (ヘモグロビン)	男性：13.5~17.6	g/dL
		女性：11.3~15.2	
PLT	血小板数	131~362	千/ μ L
NEUT	好中球 (絶対数)	—	(個)/ μ L
TSH	甲状腺刺激ホルモン	0.50~4.30	μ IU/mL
HbA1c	グリコヘモグロビン	4.6~6.2	%
PT-INR	プロトロンビン時間 (国際標準比)	—	—
ALB	アルブミン	3.8~5.2	g/dL
CRP	C反応性蛋白	0.00~0.30	mg/dL

院外処方箋に印字される検査値の解説

項目名	正式名称	解説
AST(GOT)	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	肝臓、心臓などの障害の指標です。
ALT(GPT)	アラニンアミノトランスフェラーゼ	肝臓の障害の指標です。
ALP	アルカリフォスファターゼ	肝臓、胆のう、膵臓などの病気で胆汁の流れが悪くなった時に増加します。 骨の病気などでも増加することがあります。
TBL	総ビリルビン	黄疸の程度を示します。
CRE	クレアチン	腎臓の働きをみる検査です。
eGFR	推算GFR	血清クレアチン値から計算された腎機能の指標です。 体表面積1.73m ² あたりの値で示されています。
K	カリウム	血液中の電解質（カリウム）の濃度です。
CPK	クレアチンフォスホキナーゼ	筋肉に含まれる酵素で、心筋梗塞や筋肉の病気で増加します。
WBC	白血球数	好中球やリンパ球などの白血球の総数を示しています。
HB	血色素量（ヘモグロビン）	赤血球に含まれる酵素を運ぶためのタンパク質です。 貧血では低下します。
PLT	血小板数	止血のために働く血球の数です。
NEUT	好中球（絶対数）	細菌などの異物を処理し、体を外敵から守る働きをしています。
TSH	甲状腺刺激ホルモン	甲状腺ホルモンの産生を調節します。
HbA1c	グリコヘモグロビン	血糖コントロールの指標です。
PT-INR	プロトロンビン時間（国際標準比）	血液凝固（出血時に自然に血液が固まる仕組み）の異常の原因を調べるのに役立ちます。 増加している場合、出血しやすい（血が止まりにくい）状態といえます。 ワルファリン治療時の薬の量の調節に必要な検査です。 また、肝機能が悪い場合に異常値を示しやすいため、肝機能の指標にもなります。
ALB	アルブミン	血液中の代表的なタンパク質の一つで、栄養状態の指標になります。
CRP	C反応性蛋白	炎症反応の指標です。